**防府市保育所保育業務支援システム導入業務**

**別紙**

**機能要件対応状況回答表**

|  |  |
| --- | --- |
| 提案事業者名 |  |

　回答欄の凡例　〇：対応可能　　△：代替機能・運用で対応　　×：非対応

| 記号 | 機能 | 回答 | 代替案・補足説明 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 共通機能 | | | |
| 1 | メインメニュー画面には、大型のアイコンで各機能が表示されていること |  |  |
| 2 | PCでの使用に対応すること。 |  |  |
| 3 | メインメニューのアイコンから各機能をすべて呼び出せること |  |  |
| 4 | メインメニューに機能更新など事業者からのお知らせが表示され、利用者がすぐに情報を確認できること |  |  |
| 5 | メインメニューでアイコン別に新着情報が表示（未処理の作業が明示）されること |  |  |
| 6 | メインメニュー画面において、新着情報（保護者からの連絡など）がPC端末上でプッシュ通知されること |  |  |
| 1. アカウント管理機能   1-5職員アカウント　6-10園児アカウント | | | |
| 1 | 職員ごとにログインID及びパスワードを設定できること |  |  |
| 2 | 職員ごとに担当クラスを設定することができ、各機能利用時に担当クラスの園児が標準で初期表示されること |  |  |
| 3 | 職員の権限設定は、特定の権限を持つアカウントからのみ行えること |  |  |
| 4 | 各職員ごとに有効期限を設定でき、有効期限が切れた職員はログインすることができなくなること |  |  |
| 5 | 特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードリセットができること |  |  |
| 6 | 園児基本情報として、以下の項目を登録（更新）できること。  (1)園児名、(2)園児名ふりがな、(3)性別、(4)血液型、(5)生年月日、(6)保護者氏名、(7)保護者連絡先、(8)郵便番号、(9)住所、(10)電話番号、(11)クラス、(12)入園日、(13)卒・退園日 |  |  |
| 7 | 園児基本情報の項目は、上記に加え項目を任意で追加できること |  |  |
| 8 | 園児基本情報のうち、住所や保護者連絡先等の項目について、保護者がスマートフォンで変更を行うことにより情報更新されること。また、更新は職員が内容を確認してから反映することができること |  |  |
| 9 | 園児のアレルゲン情報を、園児情報管理画面のチェックボックスにて指定できること。また、アレルゲンに関する補足情報を記述式で記載できること |  |  |
| 10 | 年度更新は予約登録ができ、事前に作業を実施できること |  |  |
| 1. 保護者アプリ機能   1-11アプリケーション　12-16連絡申請・承認　17-26お知らせ配信  　27-29行事予定　30-35連絡帳　36-41写真販売 | | | |
| 1 | 保護者向けに専用のスマートフォンアプリケーション（以下、保護者アプリ）を用い、各種情報連絡ができること |  |  |
| 2 | 保護者アプリは、使用するスマートフォン端末にインストールされたOSの純正アプリケーションダウンロードサービス(iOSの場合はApp Store、Androidの場合はPlayストア)から、保護者自身でインストールできること |  |  |
| 3 | 保護者アプリは、兄弟複数名分をまとめて登録・操作が可能なこと。兄弟姉妹が別の施設に通っている場合でも、保護者は単一のアカウントにて各種機能を利用でき、兄弟姉妹を切り替えるためのログイン・ログアウト操作が不要であること |  |  |
| 4 | 保護者アプリは、「お知らせ」「連絡帳」等、項目種別毎の一覧表示機能に対応し、必要な情報をすぐに閲覧できるよう工夫されていること |  |  |
| 5 | 保護者アプリの利用は人数に上限なく行えること。また各利用者毎に父・母・祖父母・親戚等、続柄を登録できること |  |  |
| 6 | 保護者アプリの初期設定は、各園から保護者に配布される専用のID・パスワードを保護者が入力することで行えること |  |  |
| 7 | ID・パスワードの払い出しは、園児登録と同時に自動で行われ、保護者向けの通知資料を複数名分一括でダウンロード・印刷できること |  |  |
| 8 | 保護者アプリの登録状況（登録済み/未登録）を職員側から確認できること |  |  |
| 9 | 保護者アプリからアクセスできるサポートページがあり、操作マニュアルや事業者からのお知らせを確認できること |  |  |
| 10 | 保護者アプリ内に問い合わせフォームが設置されており、アプリ利用に関する問い合わせを直接事業者に問い合わせできること |  |  |
| 11 | 本市が指定する任意のウェブサイトのリンク先URLを施設側から設定することで、保護者アプリにそのリンクを表示できること。また、保護者はアプリから直接そのサイトにアクセスできること。 |  |  |
| 12 | 保護者アプリから、保護者は欠席（病欠・都合欠・忌引・出席停止）、遅刻、お迎え時間・お迎えの変更を申請できること。また、これらの項目は追加変更できないこと。  申請は園から承認ができ、その結果を保護者が確認できること。 |  |  |
| 13 | 病欠の場合は、症状（発熱・咳・鼻水・吐き気・下痢）をチェックボックス形式で選択し、申請できること |  |  |
| 14 | 未確認の連絡がある場合、メインメニューのアイコンに未処理のマークが表示されること |  |  |
| 15 | 職員側管理画面では、保護者からの連絡情報が一覧で表示され、承認・未承認状況が一目で確認できること。また、承認前に保護者が申請を取り消した場合も、その履歴が確認できること |  |  |
| 16 | 承認後は、保護者アプリ側で申請内容の変更ができないこと |  |  |
| 17 | 園から保護者アプリ宛にお知らせの配信ができること |  |  |
| 18 | 配信先は、全園児・学年別・クラス別・任意グループ別・個人別と細かく指定ができること。また、入園前・卒園後の園児も配信先として指定できること |  |  |
| 19 | 情報の伝達漏れを防ぐため、園から情報配信された際には、保護者端末にプッシュ通知されること |  |  |
| 20 | 添付ファイル（画像、動画、PDFファイル）を送付できること |  |  |
| 21 | 配信したお知らせについて、園児毎の既読状況確認ができること |  |  |
| 22 | 日時指定による配信予約ができること |  |  |
| 23 | 配信したお知らせの公開期限を設定でき、公開期限を超過したお知らせは保護者アプリから閲覧できなくなること |  |  |
| 24 | お知らせの配信にあたり、権限者の承認を必要とする設定ができること |  |  |
| 25 | 配信権限を持たない職員であっても、災害等の緊急時には承認なく配信できる機能に対応すること |  |  |
| 26 | 配信したお知らせは、保護者から返信を受け付けないこと |  |  |
| 27 | 行事予定を保護者アプリ宛に配信できること。各行事はカレンダー形式で表示され、兄弟姉妹がいる場合は、個人ごとに行事を絞り込みできること |  |  |
| 28 | 行事予定は行事名・カテゴリ・開催日時・開催場所・備考を入力できること。各情報は保護者アプリ上で保護者が確認できること |  |  |
| 29 | 作成した行事予定は、施設全体・クラス毎で印刷できること |  |  |
| 30 | 保護者は、保護者アプリ上で家庭での様子を記した連絡帳を施設に向けて記入・送信できること |  |  |
| 31 | 保護者が記入する連絡帳の項目として、機嫌・排便・食事・睡眠・検温・保護者からのコメントを設定できること |  |  |
| 32 | 職員は、園での様子を記した連絡帳を保護者アプリに向けて記入・送信できること |  |  |
| 33 | 職員が記入する連絡帳の項目として、機嫌・排便・食事・睡眠・検温・子どもの様子・連絡事項・おむつ枚数・入浴有無を設定できること。また、写真の添付ができること |  |  |
| 34 | 職員は、連絡帳を作成する際に、当日朝に保護者が送信した連絡帳の内容を参照しながら記入ができること |  |  |
| 35 | 職員は、配信した連絡帳について、園児毎の既読確認ができること |  |  |
| 36 | 保護者は、職員がアップロードした写真を、保護者アプリから注文・購入できること |  |  |
| 37 | 販売方式は、プリント販売と、データダウンロードしてのデジタル販売の双方に対応すること |  |  |
| 38 | 販売する写真は年齢、クラス、グループ、および個人単位でのアクセス制限ができること |  |  |
| 39 | 写真が販売開始された際は、保護者アプリにその旨がプッシュ通知されること |  |  |
| 40 | 販売期間を設定できること |  |  |
| 41 | 保護者の注文状況を確認できること |  |  |
| 1. 登降園管理機能   　1-12登降園管理　13-17出席簿 | | | |
| 1 | 保護者がタブレット端末を用いて打刻操作することで、登降園時間を記録できること |  |  |
| 2 | 保護者は専用のQRコードをかざすことで登降園時間の打刻ができること。※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。 |  |  |
| 3 | QRコードは園児登録時に自動生成され、保護者アプリ上に表示できること。また、紙での印刷もできること |  |  |
| 4 | 兄弟複数人が通っている場合は、兄弟全員を一度にまとめて打刻できること |  |  |
| 5 | 保護者向けの打刻画面からは、その他の業務画面が閲覧・操作できないこと |  |  |
| 6 | その日１回目の打刻は登園、２回目の打刻は降園とするなど、登園・降園を自動で判別する機能があり、手動での登園・降園の切り替え操作が不要となること |  |  |
| 7 | 打刻結果は職員が園児ごとの一覧で確認できること |  |  |
| 8 | 登降園時の入力漏れや修正等による変更入力や欠席理由の修正ができること。また、当日以外の記録も修正できること |  |  |
| 9 | 打刻漏れ等の要確認事項が発生した際は、その旨を画面上に表示し注意喚起できること |  |  |
| 10 | 登降園時間の記録に基づき、時間帯別の延長保育利用人数および利用園児名を表示できること。また、時間帯別の延長保育利用人数をEXCELデータでダウンロードできること |  |  |
| 11 | 打刻が実施された旨のプッシュ通知が保護者アプリに対して実施されること |  |  |
| 12 | 当該プッシュ通知においては、兄弟を判別するため打刻された園児名と時刻が記載されていること |  |  |
| 13 | 登降園の打刻一覧画面から、出席簿を自動作成し、ダウンロード・印刷できること |  |  |
| 14 | 日毎の出欠人数や園児毎の合計出欠日数が自動計算されること |  |  |
| 15 | 保護者アプリから申請された欠席理由（病欠・都合欠等）が自動反映されること |  |  |
| 16 | 日毎の出席状況の出力方式を園で任意に設定できること（出席の場合、「◯」や「出」など自由に設定できること。） |  |  |
| 17 | 出席簿の様式は、Excelデータを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること |  |  |
| 1. 請求・入金管理機能   　1-6請求管理　7入金管理 | | | |
| 1 | 園児毎の1ヶ月あたりの請求金額を計算・管理できること |  |  |
| 2 | 打刻された登降園時間を参照し、延長保育料金を園児毎に計算できること |  |  |
| 3 | 園児毎に個別の請求ルールを設定できること。設定は変更予約登録ができ、事前作業ができること |  |  |
| 4 | 給食・おやつの喫食数に応じて、食費が自動計算できること |  |  |
| 5 | 園児毎の請求金額（総額・項目別）をEXCEL形式で出力できること |  |  |
| 6 | 保護者向けの明細書・請求書・領収書をEXCEL形式で出力できること |  |  |
| 7 | 園児別の入金状況を管理できること。入金状況は手動もしくは口座振替データを用いて入力できること |  |  |
| 1. 帳票管理機能   　1-8指導計画　9-13日誌　14-18保育要録 | | | |
| 1 | 全体的な計画、年間指導計画、月間指導計画（クラス別/園児別）、週間指導計画（クラス別/園児別）を作成し、保存・印刷できること |  |  |
| 2 | 職員ごとに設定した担当クラスが標準で初期表示されること |  |  |
| 3 | 過去に作成済みの指導計画を複製し、書き始められるコピー機能があること |  |  |
| 4 | 各項目について文章雛形が表示され、参照・引用ができること |  |  |
| 5 | 文章雛形は、各園毎に任意で独自の文章を追加できること。また、追加した雛形は園全体で共有できること |  |  |
| 6 | 登録した行事予定を各種計画に反映できること |  |  |
| 7 | 申請・承認機能があり、承認権限者が作成された内容について承認、もしくはコメント付きで差し戻しができること。また、承認済みのものは、承認権限者以外は変更ができないこと |  |  |
| 8 | 様式はExcelデータを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること |  |  |
| 9 | 園日誌・クラス日誌を作成し、保存・印刷できること |  |  |
| 10 | 各園毎に任意で独自の文章雛形を登録し、参照・引用ができること。また、登録した雛形は園で共有できること |  |  |
| 11 | 欠席者は、登降園機能と連動して引用入力されるなど、効率的に入力できる仕組みが用意されていること |  |  |
| 12 | 登録した行事予定を日誌に反映できること |  |  |
| 13 | 様式はExcelデータを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること |  |  |
| 14 | 保育要録を作成し、保存・印刷できること |  |  |
| 15 | 各項目について文章雛形が表示され、参照・引用ができること |  |  |
| 16 | 文章雛形は、各園毎に任意で独自の文章を追加できること。また、追加した雛形は園全体で共有できること |  |  |
| 17 | 園児名や生年月日、住所などの園児情報や、年度毎の出席日数・欠席日数はシステム上のデータから自動で入力されること |  |  |
| 18 | 様式はExcelデータを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること |  |  |
| 1. 発達・健康記録機能   　1-3身体測定　4-8発達記録　9-10午睡記録　11-13検温・排便記録 | | | |
| 1 | 月ごとの身体測定結果（身長・体重・頭囲・胸囲）項目を記録し、個人別の一覧を表示できること |  |  |
| 2 | 職員ごとに設定した担当クラスが標準で初期表示されること |  |  |
| 3 | 保護者は、身体測定結果を保護者アプリより確認ができること |  |  |
| 4 | 月齢別の発達状況チェックリストを表示し、各園児の発達状況を定期的に記録できること |  |  |
| 5 | チェック項目は任意に追加・修正できること |  |  |
| 6 | 項目毎に備考を記録できること |  |  |
| 7 | 記録の間隔は毎月・２ヶ月毎など、任意の期間を月齢毎に設定できること |  |  |
| 8 | 記録は印刷ができること。印刷時の様式はExcelデータを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること |  |  |
| 9 | クラス毎に午睡中の園児の向きとその確認者を最短5分間隔で記録し印刷できること。また、記録した内容をコピーして一括記録ができること |  |  |
| 10 | チェック記録ごとに記録者を登録できること。なお、記録者は適宜変更できること |  |  |
| 11 | 検温・排便の結果を、園児毎に記録できること。各測定結果はプルダウンから選択でき、記録操作が容易であること |  |  |
| 12 | 検温、排便は記録時に現在時刻が自動的に測定時間として記録されること。また、測定時間は手動で訂正できること |  |  |
| 13 | 検温・排便の記録は回数の上限なく可能であること |  |  |
| 1. シフト作成機能   　1-9シフト作成　10-12シフト管理 | | | |
| 1 | 職員ごとの勤務シフトを作成できること。作成した勤務シフトは月次・日次のそれぞれのビューで確認・修正できること |  |  |
| 2 | 各ビューではクラス別・グループ別・役職別に表示できること |  |  |
| 3 | 園独自のシフトパターンを上限なく登録でき、勤務シフト作成時は日毎にパターンを選択することで、シフト作成を行えること。シフトパターンには「勤務時間」「休憩時間」「業務内容」「持ち場」を設定できること |  |  |
| 4 | シフトパターンの「勤務時間」「休憩時間」は15分単位で設定できること |  |  |
| 5 | シフトパターンの設定項目として、保育・事務・調理など、園独自の「業務内容」を10種類以上登録できること。 |  |  |
| 6 | 登録したシフトパターン以外にも、勤務時間等を個別に設定した特殊シフトを登録できること。特殊シフトの登録時は、登録済みシフトパターンを複写できるなど、効率的な登録が可能であること |  |  |
| 7 | 日次シフトでは、職員が一日のうちに複数の持ち場を担当したり、複数の業務に従事したりするシフトを登録可能なこと |  |  |
| 8 | 日次シフトでは、当日の行事予定・理由別の不在職員一覧が画面上部に表示され、関連情報を確認できること。行事予定は、行事予定機能で登録したものが自動で転記されること |  |  |
| 9 | 日次シフトでは、備考欄に当日の留意事項等を記録できること |  |  |
| 10 | 作成した勤務シフトは登降園予定情報と連動し、日別・時間帯別に、配置基準に対する配置充足状況を確認できること。配置基準を下回った場合は、アラート表示されること |  |  |
| 11 | 配置基準は防府市独自の基準を適用することができること |  |  |
| 12 | 勤務シフトの締日は、月末以外にも任意で設定が可能なこと |  |  |
| 1. 保育ドキュメンテーション機能   1-4日々の記録　5-6週日案 | | | |
| 1 | 写真付きの活動記録を作成・保存できること |  |  |
| 2 | 1つの活動につき、5枚以上写真を添付できること。 |  |  |
| 3 | 職員ごとに設定した担当クラスが標準で初期表示されること |  |  |
| 4 | 作成した写真付きの活動記録は、保護者アプリ向けに電子的に配信できること |  |  |
| 5 | 1週間ごとに「週日案」を作成できること。記載事項として、「現在の子どもの姿」「今週のねらい 」「今週の計画」「今週の振り返り」を記録できること |  |  |
| 6 | 週日案の記載事項は、指導計画の週案とデータ連動し、対象項目に内容が自動転記され、同様の内容を二重入力する必要がないこと |  |  |
| 1. 給食管理機能   　1-7献立管理　10-12食数管理　11-13給与栄養目標量計算  　14-15食材情報管理　16-17帳票管理　18-20レシピ管理 | | | |
| 1 | 献立を作成できること。 |  |  |
| 2 | 作成した献立の栄養価を自動計算し、確認できること。栄養価は「1日の栄養価」「1か月平均の栄養価」のいずれでも表示ができ、数値及びグラフで表示できること |  |  |
| 3 | 日本食品標準成分表等の国が示す基準値の改正が行われた際、最新版への自動更新に対応し、施設側の操作は一切不要であること |  |  |
| 4 | 献立毎にアレルギー代替食を作成できること。代替食は、一部食材の除去及び別レシピの設定のいずれでも作成ができること |  |  |
| 5 | アレルギー代替食の作成画面から、事前に登録されている園児個別のアレルギー情報を表示し、参照できること |  |  |
| 6 | 登園情報と連携し、アレルギー代替食の作成が必要な際は、アラート表示ができること。また、代替食を作成したかどうかを同じ画面から確認できること |  |  |
| 7 | 喫食量のチェックを行う際に、登録済みの献立が自動連携されること。またアレルギー代替食を作成している場合には、アレルギー代替食用の献立名が自動連携され、保育士の献立確認負担を軽減できること |  |  |
| 8 | 献立毎の必要食数を計算できること。登降園の記録機能と連動し、実際の登園児数を必要食数として反映できること |  |  |
| 9 | アレルギーを持つ園児が所属している場合、アレルゲン毎に出欠席を一覧で確認できること |  |  |
| 10 | 献立毎の予定食数を計算できること。予定食数を用いて食材毎に発注量を計算できること |  |  |
| 11 | 給与栄養目標量が自動で計算できること |  |  |
| 12 | 身体測定に入力されている最新値の園児の体重から目標量が自動計算できること |  |  |
| 13 | 園児台帳に登録されている園児の年齢・性別（男女比率）から目標量の自動計算ができること |  |  |
| 14 | 食材情報は「日本食品標準成分表」の最新の値に準拠していること |  |  |
| 15 | 食材情報として「食材名称」「廃棄率」「三色食品群」「栄養価」「アレルギー成分」「発注に関する名称」が設定でき、任意に変更できること。発注に関する情報は、「商品番号の登録」「備考欄の記載」ができること |  |  |
| 16 | 下記の帳票を出力できること。  (1)献立表、(2)発注表、(3)調理指示書、(4)検食簿、(5)給食日誌、(6)アレルゲン情報一覧表、(7)栄養出納表 |  |  |
| 17 | 各帳票は、各施設毎にカスタマイズができること。カスタマイズされた帳票を登録することで、帳票の出力ができること |  |  |
| 18 | 給食レシピの登録ができること。給食レシピでは、「献立名」「材料（食材・調味料）」「一人あたりの分量」「栄養成分」「アレルギー成分」「調理手順」「写真」「レシピの説明」を記録できること |  |  |
| 19 | 登録したレシピは、「レシピ名」「食材名」で検索ができること。 |  |  |
| 20 | レシピ毎に栄養価自動計算がされること |  |  |